



昭和大学藤が丘病院

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

病院だより

2021年1・2月
第338号

病院だより第338号 (2021年1・2月号)
発行者 昭和大学藤が丘病院
発行責任者 藤が丘病院長 高橋 寛
編集責任者 広報・公開講座委員 今井 敦
〒227-8501 横浜市青葉区藤が丘 1-30
Tel 045-971-1151

新年のご挨拶

藤が丘病院 病院長 高橋 寛

新年明けましておめでとうございます。
年頭に当たり、皆様の健康と益々のご活躍をお祈り申し上げます。
職員の皆様には新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応については多大な負担と努力をお願いしており、心より感謝申し上げます。



さて、昨年2月に横浜港に入港したダイヤモンド・プリンセス号(乗客3,711名)の船内で新型コロナウイルスの集団感染が発生し、合計712名の患者が確認されました。この事態に対して当院はもとより、各地の多くの医療機関が分担して対応を行ったことは記憶に新しい事柄です。

現在、新型コロナウイルス感染症のパンデミックは第三波へと移行しました。感染者数については、第一波・第二波を超えており、毎日のように陽性者数の増加が報道されています。本年の1月8日には緊急事態宣言が東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県に行われ、さらに栃木県、岐阜県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、福岡県も緊急事態宣言が追加されました。医療体制の逼迫が報告されています。当院において11月に発生した院内クラスターでは、新型コロナウイルス感染症の伝染力の強さを改めて身に染みて感じさせられました。このような状況下において、今後の新型コロナウイルス感染症の対応については、これまで以上に全病院スタッフの協力体制が必要です。病院運営に関しても“with コロナ”としての対応が必要です。新型コロナ流行以前の状態に戻しつつ、“新たな診療体制”への再構築が早急に取り組むべき課題であると考えています。診療の在り方、各種会議の方法、教育・指導方法など多岐に渡る見直しが必要です。新型コロナウイルス感染症患者への対応はもとより、新型コロナウイルス感染症以外の患者さんや職員への感染予防についても十分な配慮が必要です。

今年の干支である“丑”は、芽が種子の中に生じてまだ伸びることができない状態を表しているとされています。丑年は子年に蒔いた種が芽を出して成長する時期とされており、先を急がず目のことを着実に進めることが将来の成功につながっていくといわれています。昨年は新型コロナにより大きな傷を負った一年でしたが、今年は何としても“藤が丘病院の再生”に向けて職員が一丸となった協力体制でこの難局を乗り切りたいと思いますので、どうぞよろしく協力をお願いいたします。

新年のご挨拶

藤が丘リハビリテーション病院 病院長 市川 博雄

令和3年の丑年という新しい年を迎えることとなりました。

忘年会や新年会などの行事自粛もあり、年明けの実感が例年とは異なるように思いますが、コロナ禍が長期に続くなか、職員の皆さまには心身ともに苦勞しつつ献身的な診療に協力頂き感謝いたします。また、面会制限や外出制限、入転院前のPCR検査実施など、患者さんやご家族、医療機関の皆様方には様々なご不便をおかけしておりますが、どうぞご理解頂きますよう、よろしく願い申し上げます。



当院は197の病床を有し、そのうち一般病棟が101床、回復期病棟が96床となっております。回復期病棟では1年365日体制でリハビリテーションを提供しておりますが、診療行為や看護、そしてリハビリテーションを実施するにあたっては、人と人との密な接触を避けることができません。このジレンマをゼロにすることは困難ですが、可能な限り感染予防策を講じつつ、十分なりハビリテーションを提供してまいりたいと思います。リハビリテーション医療のほか、当院では眼科診療を行っております。昨年の緊急事態宣言時には一部診療を制限していた時期もございましたが、現在は入院前にPCR検査を実施するなど感染予防を講じながら、安全かつ通常の診療を心掛けているところであります。

また、コロナ禍を契機に会議などではできる限りWEBで行うなどの感染予防対策を実施しており、ITの活用が試みられております。また、昨年以降、当院と昭和大学藤が丘病院および横浜市北部病院において、電子カルテのOne Server化を開始するとともに患者IDを統合しました。これらにより、3病院間の連携強化はさらに深まっているところであります。

今後とも至誠一貫の信念に基づき、病院の理念であります医療の質・安全の向上、患者本位の医療、地域への貢献、医療人の育成に努めてまいりたいと思います。コロナ禍が続いている現状ではありますが、一日も早く平穏な日々に戻りますことを心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

急性から慢性まで全ての神経疾患を 診療する藤が丘病院脳神経内科

現在の藤が丘病院脳神経内科は准教授1名、講師1名、助教4名、専攻医1名の計7名の医員で構成された比較的小規模な医局です。

医局員は決して多くはありませんが、医員全員が患者さんに寄り添って医業を行うという共通した熱意を忘れないければ、その思いは相乗的に大きな力となり、掻き立てられた医学への創造性こそがひいては患者さんの幸せへの道標となることを信じ、その自覚を強く持って日々の診療に向き合っております。



(写真撮影のためマスクを外しています)

脳神経内科は脳神経外科とともに脳神経センターの運営をおこなっています。脳神経センターでは特に脳卒中の診療に注力しており、脳卒中専門医や脳血管内治療専門医による超急性期及び急性期の治療が行われます。入院後は脳卒中ケアユニットにおける3対1の看護、早期からのリハビリテーション治療介入などにより、脳卒中後の機能予後を少しでも好転出来るように取り組んでいます。今後も脳卒中の急性期診療をさらに充実したものとし、より質の高い医療を提供していきたいと考えております。脳神経センターでは脳卒中以外にも、頭痛、めまい、てんかん・けいれん、意識障害、脳炎、髄膜炎など様々な神経救急疾患の診療を24時間体制で行っております。

神経救急疾患以外にも、脳神経内科ではパーキンソン病、アルツハイマー病、レビー小体型認知症、脊髄小脳変性症などの神経変性疾患、筋萎縮性側索硬化症や筋ジストロフィーなどの神経難病など、あらゆる神経内科疾患の診療に対応しています。特に、パーキンソン病診療に関しては、診断や治療において高い実績、経験、技術を有しており、横浜市北部医療圏における基幹病院としての役割を担っています。また、脳神経内科外来では片側顔面けいれん、眼瞼けいれん、ジストニアに対するボツクス治療も行っております。

脳神経内科の醍醐味の一つとして症候学があります。診察して得られた神経所見から高位診断(病変部位の推定)を行い、同時に鑑別診断を列挙する学問です。高位診断には神経解剖学の知識も必要です。現在では画

像診断が非常に進歩し、高位診断が不十分でも病変部位や疾患が分かるようになりました。しかし、先人たちの英知の結晶である症候学を支柱とし、臨床所見と併せて確実に診断し、適切な治療へと結びつけることができるような神経内科医を目指していきたいと思っております。

今後も高度救急医療を実践する地域の基幹病院としての役割を果たすとともに、神経内科疾患を幅広く、かつ、確実に適切な診療を実践することで地域医療のニーズにしっかりと応えることができるような藤が丘病院脳神経内科でありたいと思っております。

外来担当医表(2021年1月現在)

	月	火	水	木	金	土
初診担当医	大湾 喜行	馬場 康彦	安本 太郎	野元 将平	高橋 聖也	担当医
専門分野	神経変性疾患	神経変性疾患	神経疾患全般	神経疾患全般 認知症	神経疾患全般	

(脳神経内科 馬場 康彦)

WEB 予約を開始いたしました

藤が丘病院では令和2年12月11日より、紹介状をお持ちの方を対象としてWEBでの診療予約を開始いたしました。

今までは電話のみで予約を受け付けておりましたが、WEB予約では24時間申し込みを受け付けておりますので、日中お仕事等で電話が出来ない方には利便性が高いかと思っております。

ただし、当システムは即時予約ではなく地域医療連携室が内容を確認し、指定のメールアドレスもしくは電話にて回答するシステムとなっておりますのでご注意ください。

詳しくは藤が丘病院ホームページ

(<http://www.showa-u.ac.jp/SUHF/>)をご覧ください。



外来診療時間

■初めての受診の際は他院からの紹介状をお持ち下さい。
当該診療科には診療所・病棟からの紹介による受診を原則としております。
紹介状をお持ちでない場合は、選定療養費として5,500円(税込)は初診料とは別途に負担いただく必要があります。

■紹介状をお持ちの方の予約取得について
地域医療連携室 045-974-4701
月曜日～土曜日 9:30～17:00

■紹介状をお持ちの方はWEBフォームでも予約を受け付けます。
※紹介状の提出先は
地域医療連携室です

■初診受付時間
8:00～14:00

■外来診療時間
9:30～17:00

重要なお知らせ

2020年12月17日 新型コロナウイルス感染症への対策(面会禁止)の継続について

2021年1月19日 昭和大学藤が丘病院 職員ならびに患者の新型コロナウイルス感染症について

2021年1月14日 昭和大学藤が丘病院 職員ならびに患者の新型コロナウイルス感染症について

2020年12月10日 昭和大学藤が丘病院 職員ならびに患者の新型コロナウイルス感染症について

2020年12月9日 昭和大学藤が丘病院 職員ならびに患者の新型コロナウイルス感染症について

2020年12月5日 昭和大学藤が丘病院 職員ならびに患者の新型コロナウイルス感染症について

2020年11月27日 昭和大学藤が丘病院 職員ならびに患者の新型コロナウイルス感染症について

2020年11月25日 昭和大学藤が丘病院 職員ならびに患者の新型コロナウイルス感染症について

2020年11月24日 昭和大学藤が丘病院 職員ならびに患者の新型コロナウイルス感染症について

主な専門外来

- ▶ 口唇口蓋裂センター
- ▶ 上部内視鏡FAX予約
- ▶ 母乳外来
- ▶ 重症下肢虚血診療
- ▶ その他の専門外来

病棟からみなさまへ

- ▶ 看護部
- ▶ 薬剤部
- ▶ かかりつけ医制度(主たる主治医制)
- ▶ 研修医の方へ
- ▶ 迷行物に対する当院の対応について

(藤が丘病院 地域医療連携室)

2人主治医制について

藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院では地域医療連携の取り組みとして、「2人主治医制」を推進しております。「2人主治医制」とは患者さん一人に対して、近隣医療機関の医師(かかりつけ医)と当院の医師が患者さんの主治医となり、互いに連携し共同で継続的に診療を行うことです。

今回、両院で行う取り組みとして、入院治療を終了した患者さんにつきまして積極的に近隣の医療機関へご紹介し、定期的な薬の処方や症状に変化がないかなどの継続的な診療をお願いします。両院では年に数回の特種な検査(CT・MRI)など専門的な診療を行います。また症状が変化したときの対応を当院にて行います。

それぞれの役割分担を明確にし、協力し合って質の高い医療を提供できるよう努めてまいりますのでご理解ご協力くださいますようお願いいたします。

(藤が丘病院 医事外来課)

青葉区災害時通信訓練に参加しました

令和3年1月24日(日)に「青葉区災害時通信訓練」が行われました。

大規模災害発生を想定し、災害時に区内の小中学校に設置される地域定点診療拠点から区役所の医療調整班へ重症患者の搬送依頼があったものを、区内の災害拠点病院(当院)及び、災害時協力病院との間で無線通信を使用して搬送調整を行う訓練です。

複数の医療機関、地域定点診療拠点が同時に参加しての初めての訓練でしたが、課題も見つかりました。

今後は青葉区医師会を中心に改善策を講じ、災害時に即応できる体制を整えてまいります。



(藤が丘病院 管理課)

第37回 藤が丘地域連携フォーラムが開催されました

令和3年1月14日(木)に第37回藤が丘地域連携フォーラムを開催しました。

今回の藤が丘地域連携フォーラムは、緊急事態宣言発令を受け、急遽 WEB 配信のみで開催いたしました。当日は年始のお忙しい中、36施設40名の医療機関の先生方など院外関係者の皆様、医師など院内関係者35名の総勢75名の方にご参加いただきました。皆様方には感謝申し上げます。

なお、次回の地域連携フォーラムは、令和3年4月8日(木)に開催を予定しております。開催方法につきましては、今後の新型コロナウイルスの感染状況を鑑み検討してまいります。皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

=第37回藤が丘地域連携フォーラム講演会=

1. 呼吸器センターについて～呼吸器外科活動再開～
藤が丘病院 呼吸器外科 神尾 義人
2. 新型コロナウイルス感染症について
藤が丘病院 呼吸器内科 横江 琢也

(藤が丘病院 医事外来課)

パルスオキシメーターをご存知ですか？ 新型コロナウイルスで注目のパルスオキシメータ

パルスオキシメータとは、動脈血酸素飽和度(SpO₂)を皮膚の表面から測定する装置です。動脈血酸素飽和度とは、血液中の全てのヘモグロビンに酸素が結合した状態を100%として、その割合を示す値です。パルスオキシメータは非侵襲的、つまり体を傷つけることなく連続的に呼吸状態を反映する便利な機械です。

酸素加された血液、動脈血は鮮紅色を示し、酸素を手放した血液、静脈血は暗赤色を示すことはよく知られています。



臨床工学技士によるパルスオキシメータの修理

このようにヘモグロビンと酸素の結びつきの多い・少ないは、血液の色で判断できます。血液の色は吸光度という光の吸収という現象を利用して測定できます。ただし、体の外からただ光を当てただけでは動脈・静脈両方の血液の状態を測定してしまいます。呼吸状態を判断するには動脈に流れる血液だけ測定する必要があります。そのためには、動脈血が心臓の拍動に合わせて動く特性(脈

動)を利用します。全体の流れからあまり動かない部分を差し引き(図1、図2)、その部分の光の吸収具合を2つの

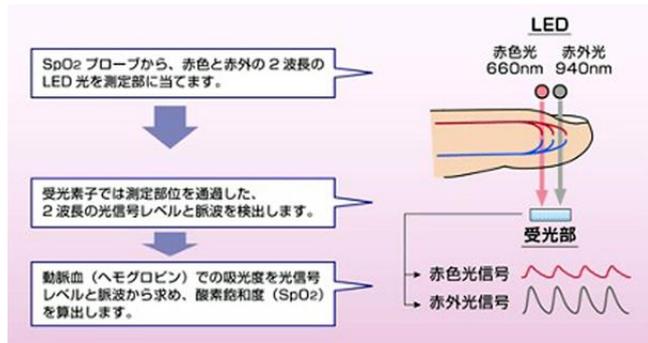


図1. パルスオキシメータによる経皮的動脈血酸素飽和度測定 (日本光電工業株式会社HPより引用)

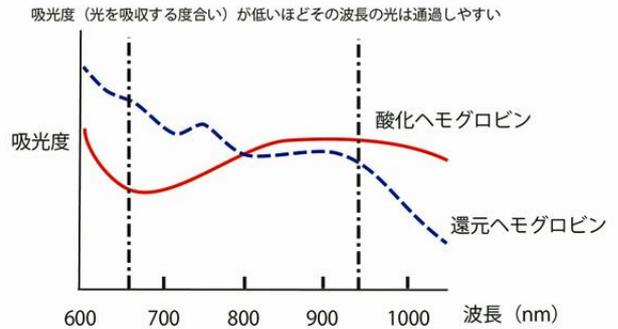


図3. 吸光度を利用したパルスオキシメータの測定原理

も実は肺での酸素の取り込みが悪化している、いわゆる「ハッピーハイポキシア(Happy hypoxia = 幸せな低酸素血症)」と言われる症状も報告されています。このハッピーハイポキシアに陥ると苦しさに気づけず、気がついた時には重症化しているというリスクがあります。医療者は普段「データばかり見ずに患者の声を聞き、患者をよく見ろ」と教わりますが、新型コロナウイルス感染症に関しては「患者の見た目にだまされるな」といわれることもあります。パルスオキシメータは、日本のメーカーが世界に先駆けて開発した誇るべき技術であり、現代医療の現場で簡便で誰もが分かりやすい呼吸状態の指標として標準的に利用されています。最近ではご家庭で購入する方も増えています。使用上の注意としては、指先に装着する場合、赤い光が出ている側を爪がある側に装着し、測定中はあまり動かさないことが必要です。また、指先が冷えているなど血流が悪くなっているときやマニキュアを塗っている場合などはうまく測定できないことがあります。詳しくは取扱説明書をお読みいただき、正しくご利用ください。

(藤が丘病院臨床工学室 西山 謙一)

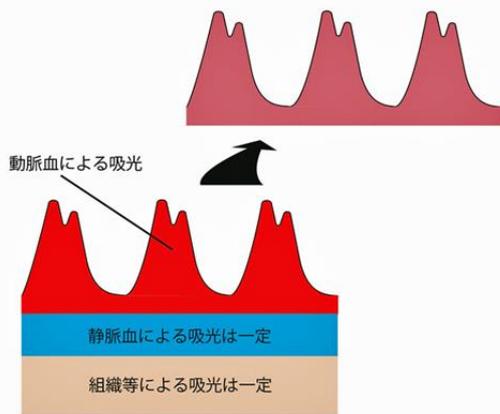


図2. パルスオキシメータによる脈波の検知

波長光の吸収具合を2つの波長の光を使って測定し(図3)、酸素と結びついた酸化ヘモグロビンと、酸素を手放した還元ヘモグロビンの割合を計算したものが酸素飽和度です。脈動している部分が大事になるので、あまり測定部を動かさずうまく測定できないことがあります。

新型コロナウイルス感染症では、感染しても自覚症状があまり感じられないことも多く、中には自覚症状がなくて

診療統計 2020年12月・2021年1月

	藤が丘病院		リハビリテーション病院	
	2020年12月	2021年1月	2020年12月	2021年1月
外来患者数	20,743人 (864.3人/日)	19,066人 (794.4人/日)	4,193人 (174.7人/日)	3,664人 (159.3人/日)
入院患者数	8,762人 (282.6人/日)	11,713人 (377.8人/日)	4,487人 (144.7人/日)	4,540人 (146.5人/日)
紹介率	79.6%	75.9%	75.7%	74.4%
逆紹介率	85.9%	91.8%	113.8%	85.5%

《 広報・公開講座委員会委員 》

- | | | | | | | |
|-------|--------|--------|-------|-------|--------|--------|
| 今井 敦 | 原田 浩史 | 佐々木 春明 | 市川 度 | 小岩 文彦 | 中田 土起丈 | 黒木 優一郎 |
| 川手 信行 | 西村 栄一 | 泉 紀子 | 高木 睦子 | 佐藤 郁子 | 山寺 志保 | 東 哲士人 |
| 岡部 圭吾 | 斉藤 あずさ | 和田 洋一 | 小泉 春樹 | 山田 大暉 | 高橋 良治 | (順不同) |